

英語

出題の傾向

長文問題・会話の問題・文法問題・文の書き換え問題・語句の並べ替え問題・語彙の問題・発音・アクセントの問題・英作文等、様々な形式に基づいた出題となっています。中学校での既習内容を踏まえた問題がほとんどで、基本的な単語・熟語・構文力を身につけておけば特に難しいものではありません。配点上、長文問題が多めの点数を占めていますので、決められた時間内に長文を読み、その内容を理解する読解力が重要となります。

2019 今年度の出題と解説

① 長文読解問題

長文を読み、総合的な英語力を試す問題です。昨年と同様、今年度もEメール文のやりとりを出題しました。「ALTの先生が様々な国の文化について話し合う」がテーマであり、話の流れを踏まえながら、英文の内容をていねいに把握できているかどうかを試す問題です。

問1 語形変化の問題ですが、特に③の painted を painting としている答案が多くありました。

問2 下線部と同じ用法を答える問題です。この形式の問題に対応するためにも、普段から用法を確認する癖をつけておきましょう。

問3 本文中で述べられた内容を示す図を選ぶ問題です。内容をきちんととらえられている答案が多く、正答率は悪くありませんでした。

問4 ④⑥ともに it の内容を問う内容です。④は直前の文章を指していると誤解した解答が多くみられました。また、指している箇所は分かっていたものの、国名を記載し忘れたために加算されない答案もありました。⑥は it...to ~ 構文を把握して、to 以下の内容を答える問題でした。④の問題のように、直前の文章を指していると誤解した答案が多く見られました。

問5 内容一致の問題です。a と d の問題は正答率が良くありませんでした。

問6 下線部和訳の問題です。must not を「してはいけない」ではなく、「する必要がない」とする誤答が多く見られました。

問7 例年出題している英問英答形式の問題ですが、答え方に慣れていない受験生が多く、文ではなく単語だけで答えていました。S (主語) + V (動詞) をきちんと使って答えるようにしておいてください。また、S + V で答えていても、S を代名詞に変えていない答案も多く見られました。(1) では two months のみの解答、(3) では six colors ではなく、文中に書かれている two more colors を抜き出した答案もありました。

メール文では、誰が何を発言し、直前のメール内容を受けて、話がどのように展開しているのかを確認しながら読

むことが大切です。内容をメモ書きしてまとめておくこともいいでしょう。また、少しの読み間違えで減点となってしまう場合がありますので、比較的短い文でも正確に読み取っていく力を身につけてください。

② 文の書き換え問題

昨年とほぼ同じ難易度の問題でした。(1) は to... too ~ (3) は biggest のように、ケアレスミスをしている答案が多くありました。(5) は、shall I とする非常に惜しい答案が多く見られました。

全体的に基礎的な問題ですので、ケアレスミスをしないようにしましょう。教科書や問題集、過去の入試問題などを見て、同じような意味を表す文をまとめて整理しておきましょう。

③ 語句の並べ換え問題

全体的に低い正答率でした。与えられた語句をすべて使用せずに書く答案が散見されました。また、並べることができているのに、写し間違えたために減点とされた答案も多くありました。

この問題では、日本語を参考にどのような文法が問われているのかを考え、語を並べていきます。どれもが文法問題集等では頻出の問題ですので、落ち着いて考えれば解ける問題です。ほとんどが学校で学習した文法からの出題ですので、各文法事項を確実に身につけ、応用できるように問題集を解いて慣れておくことが必要です。

例年、助動詞、不定詞、分詞、動名詞、完了形、受動態、関係代名詞といった主要な文法事項が出題されていません。

④ 会話文の問題

全体的にできていました。

こういった問題は、会話の状況をよくイメージすることが大切です。教科書や問題集などを参考にして、会話での決まり文句のような基本的な会話のやり取りを身につけておきましょう。

⑤ 語いの問題

基本単語を出題しました。比較的よくできていたが、(3)のeye(s)をear(s)としている答案が目立ちました。単語の定義が英語で示されています。短い英語を正確に理解することが大切です。また、教科書に出てくる単語は意味を覚えるだけでなく、必ず書いて練習しましょう。

⑥ 空所補充問題

教科書レベルの基本的な文法力や語彙力を試す問題です。全体的によくできていました。典型的な空所補充問題ですので、教科書や問題集の例文などを見直しておきましょう。

⑦ ⑧ アクセント・発音の問題

基本的なアクセント・発音を出題しました。日頃、英文を読むときに発音を意識し、音読することを心がければ、この種の問題への対応がしやすくなります。

⑨ 英作文の問題

例年通り、条件を示した上での自由英作文を出題しました。

(1)はよくできていました。(2)は形容詞のlateを一般動詞と勘違いし、didを使った疑問文にしている解答が多く見られました。また、this morningにinを付けている解答も多くありました。

出来上がったら、日本語をもう一度良く読み、全ての日本語の英訳に訳し忘れないかをよく確認しましょう。また、疑問文なので文末の?マークは必ず必要です。

解答例を見れば分かるように、決して難解な問題ではありません。正確な英文をきちんと書けるようにしておくと共に、基本的な表現・語句がどのような状況で用いられるのか、日頃から意識して学習するようにしておきましょう。

対策と アドバイス

標準的な問題がほとんどで、教科書を中心に勉強しておけば対応できます。定期考査や実力問題で出題された問題を復習すると共に、教科書に出てきた単語、熟語、重要文を理解して、徹底して暗記しておいてください。また、並べ替え問題のパターン練習が不足していると思われる答案が目立ちました。市販の問題集などで問題に慣れておくとも良いでしょう。長文問題の苦手な受験生は、まず教科書の英文を読み、その内容が確実に理解できるようにしておいてください。過去の問題集を解いて慣れておくことも大切です。最後に、英文に接する際には必ず音読をする習慣を身につけておきましょう。また、単語も音読し、書いて覚える勉強法を実践してください。